

2022年3月期 連結業績概要

- 1 2022年3月期 連結業績概要
- 2 2023年3月期 連結業績見通し
- 3 中期経営計画
- 4 研究開発の取り組み

2022年5月27日

日本化学工業株式会社 4092

© Nippon Chemical Industrial Co., Ltd.

1

2022年3月期 連結業績概要

2022年3月期 通期決算のポイント

コロナ禍からの緩やかな回復基調が継続するも、新たな変異株による感染再拡大、原材料価格の高騰や物流の混乱、さらに国際情勢の影響により、先行きの不透明な状況が続く。

◆売上高は前期比7.6%増、営業利益は前期比40.9%増

- ・ デジタル化や省エネ化に伴う需要が旺盛。収益性向上に貢献。
- ・ 海外販売拠点との連携強化により、新市場開拓を積極的に推進。
(次世代ディスプレイ向け材料、RFIDタグ向け接着剤)
- ・ 原料価格高騰に伴う関連製品の価格改定を実施。
- ・ 経営資源の最適配分に向けた事業ポートフォリオ見直しを実施。
(空調関連事業の売却)
- ・ 需要が拡大する成長分野向けの安定供給体制を強化。
(電子セラミック材料、ホスフィン誘導体、高純度電子材料)

2022年3月期 連結業績概要

(百万円)	2021年3月期	2022年3月期	増減	増減率
売上高	34,642	37,275	2,632	7.6%
営業利益	2,783	3,921	1,138	40.9%
営業利益率	8.0%	10.5%	+2.5pt	
経常利益	2,315	3,864	1,549	66.9%
純利益	2,182	3,735	1,552	71.2%
ROE	5.8%	9.2%	+3.4pt	
1株あたり利益 (円)	248.11	424.47		

2022年3月期 事業別の収益

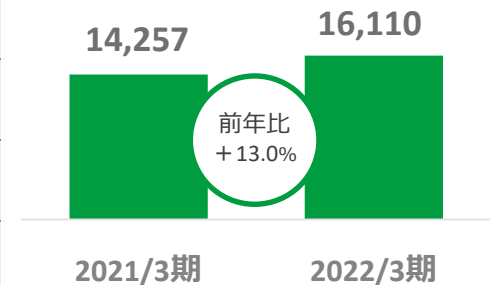
(百万円)		2021年3月期	2022年3月期	増減	増減率
化学品	売上	14,257	16,110	1,853	13.0%
	営業利益	434	950	516	118.9%
機能品	売上	15,151	17,426	2,274	15.0%
	営業利益	1,517	2,075	558	36.8%
賃貸	売上	913	913	0	0.0%
	営業利益	535	537	2	0.4%
空調関連	売上	3,399	1,926	▲ 1,472	▲ 43.3%
	営業利益	182	258	76	41.8%
その他	売上	921	898	▲ 23	▲ 2.5%
	営業利益	68	95	27	39.7%
合計	売上	34,642	37,275	2,632	7.6%
	営業利益	2,783	3,921	1,138	40.9%

2022年3月期 化学品事業の売上高実績

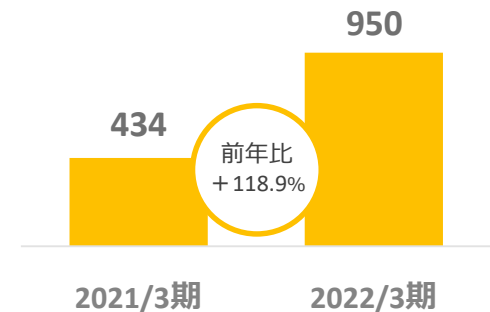
(百万円)	2021/3	2022/3	増減	増減率
クロム製品	4,104	4,679	575	14.0%
シリカ製品	2,606	2,078	▲ 528	▲ 20.3%
りん製品	4,529	6,222	1,693	37.4%
その他	3,017	3,131	114	3.8%
合計	14,257	16,110	1,853	13.0%

- ◆クロム製品：めっき向けや耐火物向けが大幅に伸長
- ◆シリカ製品：サプライチェーンの見直しにより大幅に落ち込み
- ◆りん製品：一般工業向けや液晶・半導体向けが大幅に伸長

売上高



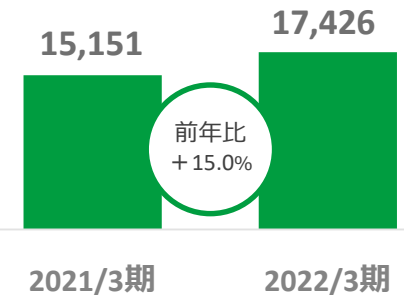
営業利益



2022年3月期 機能品事業の売上高実績

(百万円)	2021/3	2022/3	増減	増減率
電子セラミック材料	7,310	7,911	601	8.2%
有機機能材料	2,466	3,349	883	35.8%
電池・電子デバイス材料	3,716	4,075	359	9.7%
その他	1,655	2,089	434	26.2%
合計	15,151	17,426	2,274	15.0%

売上高



◆電子セラミック材料：自動車向け好調

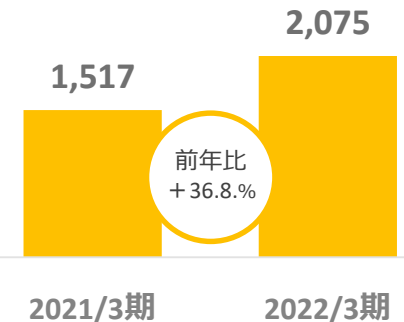
◆有機機能材料

- ホスフィン誘導体：海外向けや量子ドット向けが大幅に伸長
- 農薬：好調

◆電池・電子デバイス材料

- 電池材料：原料価格下落で大幅落ち込み
- 回路材料：異方性導電材料向けで好調
- 高純度電子材料：半導体向けが大幅に伸長

営業利益



2022年3月期 賃貸・その他事業の売上高実績



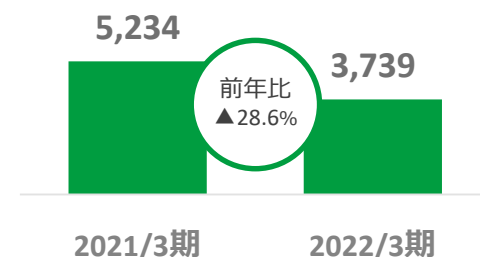
(百万円)	2021/3	2022/3	増減	増減率
賃貸	913	913	0	0.0%
空調関連	3,399	1,926	▲ 1,472	▲ 43.3%
書店経営	662	619	▲ 43	▲ 6.5%
その他	260	281	21	8.1%
合計	5,234	3,739	▲ 1,495	▲ 28.6%

◆賃貸：主要テナント堅調

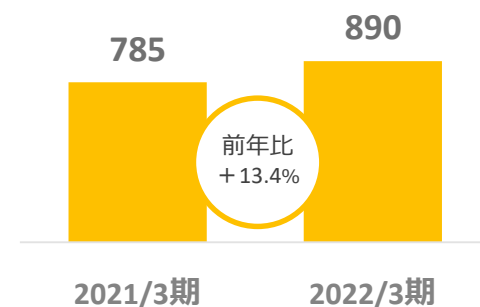
◆空調関連：事業売却により、22年3月期第3四半期から連結対象外

◆書店経営：低調

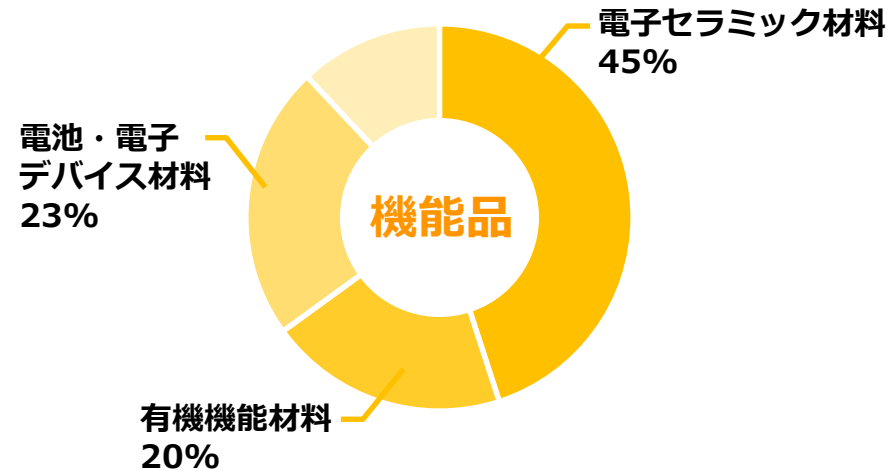
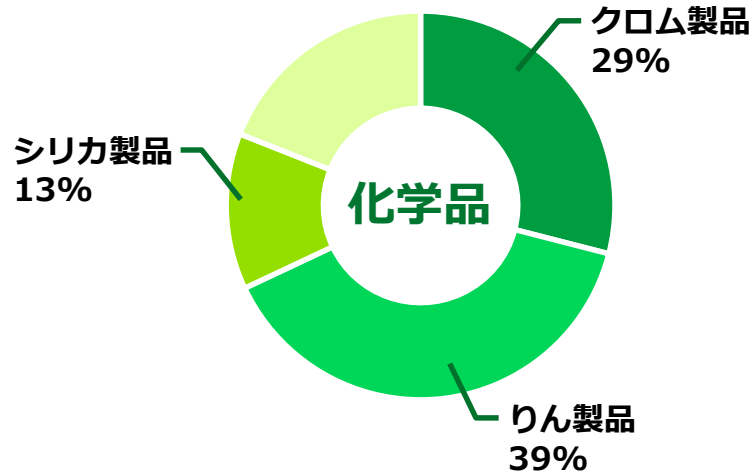
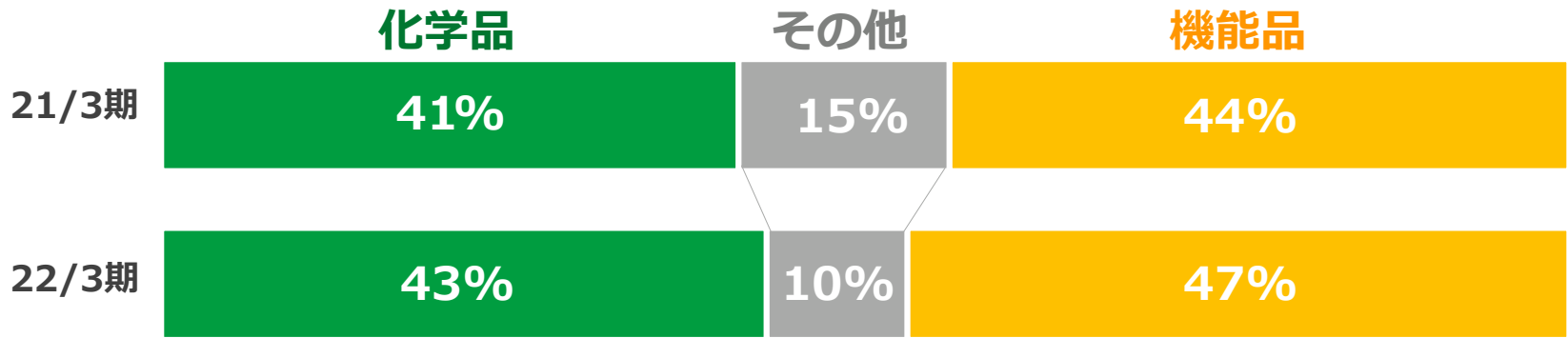
売上高



営業利益



2022年3月期 売上構成比



連結貸借対照表 資産の部

(百万円)

【資産の部】	2021年3月末	2022年3月末	増減
流動資産	30,598	30,718	120
現金及び預金	10,004	9,012	▲ 991
受取手形及び売掛金	11,297	10,995	▲ 302
たな卸資産	8,788	9,802	1,014
その他流動資産	509	909	400
固定資産	39,598	39,712	114
有形固定資産	30,874	31,864	989
無形固定資産	589	448	▲ 141
投資有価証券	7,044	6,385	▲ 658
その他の資産	1,091	1,015	▲ 76
資産合計	70,196	70,431	234

連結貸借対照表 負債・純資産の部

(百万円)

【負債の部】	2021年3月末	2022年3月末	増減
流動負債	17,525	17,706	181
支払手形及び買掛金	3,802	3,390	▲ 412
短期借入金	8,300	8,886	585
その他流動負債	5,423	5,430	7
固定負債	13,595	10,857	▲ 2,738
長期借入金	7,283	7,033	▲ 249
退職給付に係る負債	1,387	1,093	▲ 293
繰延税金負債	2,173	610	▲ 1,562
持分法適用に伴う負債	424	-	▲ 424
その他長期負債	2,326	2,118	▲ 208
負債合計	31,120	28,563	▲ 2,557
【純資産の部】			
株主資本	35,365	38,499	3,134
その他の包括利益累計額	3,709	3,368	▲ 341
純資産合計	39,075	41,867	2,791
負債・純資産合計	70,196	70,431	234

連結損益計算書

(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減	増減率
売上高	34,642	37,275	2,632	7.6%
売上原価	26,799	28,229	1,430	5.3%
販売費・一般管理費	5,060	5,124	64	1.3%
営業利益	2,783	3,921	1,138	40.9%
営業外収益	288	295	7	
営業外費用	755	351	▲ 404	
持分法による投資損失	517	32	▲ 485	
その他営業外費用	238	319	81	
経常利益	2,315	3,864	1,549	66.9%
特別利益	824	643	▲ 181	
関係会社株式売却益	-	551	551	
投資有価証券売却益	824	91	▲ 733	
特別損失	191	1,326	1,135	
固定資産除却損	149	1,326	1,177	
災害による損失	42	-	▲ 42	
税金等調整前純利益	2,948	3,182	234	7.9%
法人税等	866	1,055	189	
法人税等調整額	▲ 100	▲ 1,608	▲ 1,508	
純利益	2,182	3,735	1,552	71.2%

12

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2021年3月末	2022年3月末
I 営業活動によるキャッシュフロー	5,216	1,975
税金等調整前当期純利益	2,948	3,182
減価償却費	2,875	3,061
関係会社株式売却益	-	▲ 551
固定資産除却損	149	1,326
たな卸資産増減	46	▲ 1,443
法人税等の支払額	▲ 512	▲ 1,333
その他	▲ 290	▲ 2,267
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 3,539	▲ 3,082
設備投資支出	▲ 4,266	▲ 5,011
その他	727	1,929
III 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,024	120
借入金の増減額	▲ 402	739
配当金支払額	▲ 614	▲ 614
その他	▲ 8	▲ 5
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 5	26
現金及び現金同等物の増減額	647	▲ 960
現金及び現金同等物の期首残高	9,315	9,962
現金及び現金同等物の期末残高	9,962	9,002

2

2022年3月期 連結業績見通し

2023年3月期 通期見通しのポイント

世界経済の改善により、景気が持ち直すことが期待される一方で、原材料価格の更なる上昇や物流混乱の長期化、金融資本市場の変動等の下振れリスクが想定される。

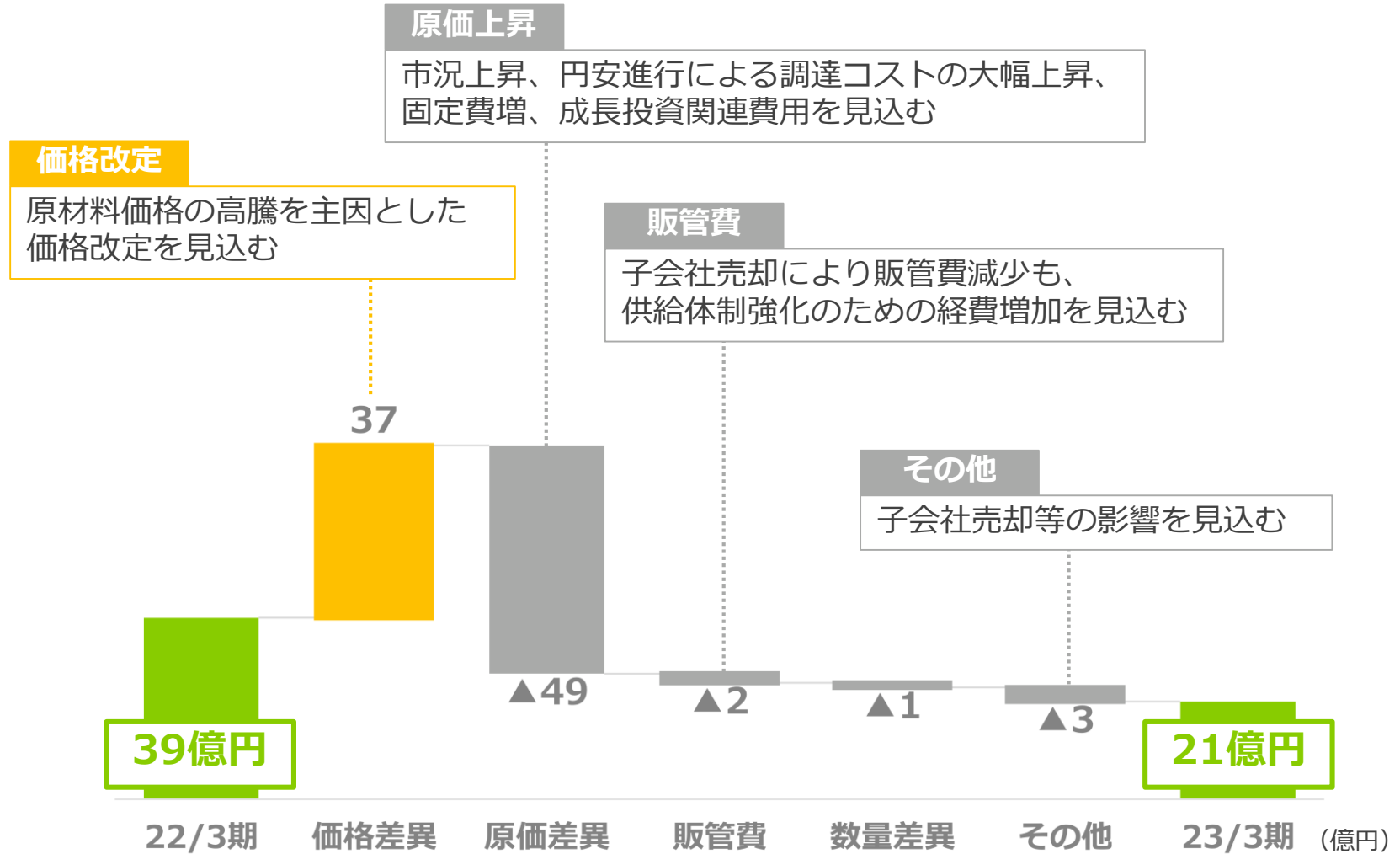
◆売上高は前期比2%増、営業利益は前期比46%減

- ・ デジタル化、省エネ化に伴う需要が引き続き旺盛。
- ・ 海外市場における事業機会の獲得を探求。
- ・ 成長投資は引き続き積極推進。
- ・ 収益性は一時的に大きく低下も、中長期的な成長を見据え、収益基盤の拡大と価値創造に注力。
- ・ 成長分野や海外展開、製品開発等に経営資源を重点的に配分。事業ポートフォリオの最適化に引き続き取り組む。

2023年3月期連結業績見通し

(百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 見通し	増減	増減率
売上高	37,275	38,000	725	1.9%
営業利益	3,921	2,100	▲ 1,821	▲ 46.4%
営業利益率	10.5%	5.5%	▲5.0pt	
経常利益	3,864	2,200	▲ 1,664	▲ 43.1%
純利益	3,735	1,400	▲ 2,335	▲ 62.5%
ROE	9.2%	3.3%	▲5.9pt	
1株あたり利益 (円)	424.47	159.06	-	-
配当金 (円)	上期 : 35円 下期 : 50円 年間 : 85円	上期 : 35円 下期 : 35円 年間 : 70円	-	-
設備投資額	4,407	4,900	493	11.2%
減価償却費	3,061	3,500	439	14.3%
研究開発費	1,326	1,400	74	5.6%

2023年3月期 営業利益の増減要因予想



2023年3月期事業別収益見通し

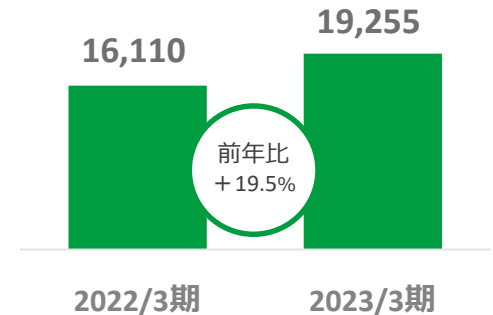
		2022年3月期 実績	2023年3月期 見通し	増減	増減率
		(百万円)			
化学品	売上	16,110	19,255	3,145	19.5%
	営業利益	950	1,040	90	9.5%
機能品	売上	17,426	16,985	▲ 441	▲ 2.5%
	営業利益	2,075	480	▲ 1,595	▲ 76.9%
賃貸	売上	913	913	0	0.0%
	営業利益	537	525	▲ 12	▲ 2.2%
空調関連	売上	1,926	-	▲ 1,926	-
	営業利益	258	-	▲ 258	-
その他	売上	898	847	▲ 51	▲ 5.7%
	営業利益	95	55	▲ 40	▲ 42.1%
合計	売上	37,275	38,000	725	1.9%
	営業利益	3,921	2,100	▲ 1,821	▲ 46.4%

2023年3月期 化学品事業の売上高見通し

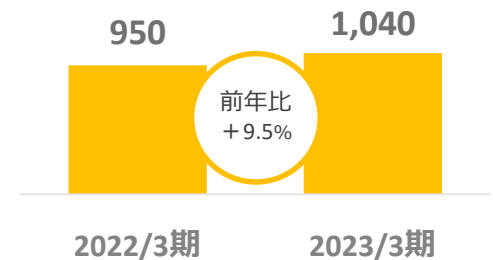
(百万円)	2022/3 実績	2023/3 見通し	増減	増減率
クロム製品	4,679	4,845	166	3.5%
シリカ製品	2,078	2,225	147	7.1%
りん製品	6,222	8,510	2,288	36.8%
その他	3,131	3,675	544	17.4%
合計	16,110	19,255	3,145	19.5%

- ◆**クロム製品**：自動車減産の影響受けるも、価格改定を見込む
- ◆**シリカ製品**：需要回復に加え、価格改定を見込む
- ◆**りん製品**：液晶・半導体向け大幅伸長、価格改定を見込む

売上高



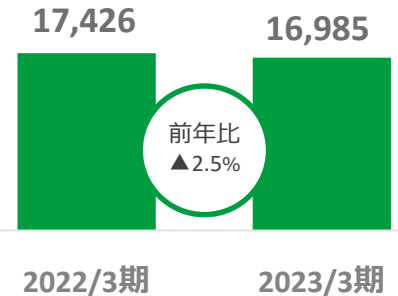
営業利益



2023年3月期 機能品事業の売上高見通し

(百万円)	2022/3 実績	2023/3 見通し	増減	増減率
電子セラミック材料	7,911	7,700	▲ 211	▲ 2.7%
有機機能材料	3,349	3,195	▲ 154	▲ 4.6%
電池・電子デバイス材料	4,075	4,420	▲ 345	8.5%
その他	2,089	1,670	▲ 419	▲ 20.1%
合計	17,426	16,985	▲ 441	▲ 2.5%

売上高



◆電子セラミック材料：自動車・通信向け堅調、
高純度炭酸バリウム低調を見込む

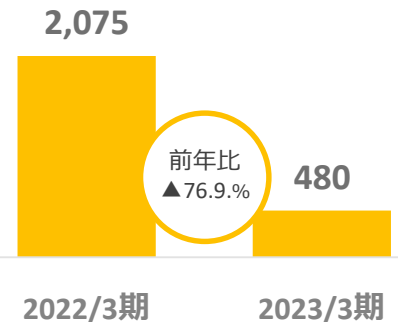
◆有機機能材料

- ホスフィン誘導体：量子ドット向けで大幅な伸長を見込む
- 農薬：一部グレードの生産終了で大幅な落ち込みを見込む

◆電池・電子デバイス材料

- 電池材料：需要堅調を見込む
- 回路材料：異方性導電材料向け好調を見込む
- 高純度電子材料：半導体向けで大幅な伸長を見込む

営業利益



2023年3月期 賃貸・その他事業の見通し

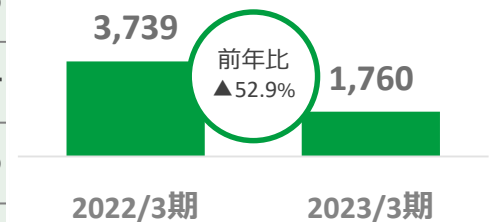
(百万円)	2022/3 実績	2023/3 見通し	増減	増減率
賃貸	913	913	0	0.0%
空調関連	1,926	-	▲ 1,926	-
書店経営	619	582	▲ 37	▲ 6.0%
その他	279	265	▲ 14	▲ 5.0%
合計	3,739	1,760	▲ 1,979	▲ 52.9%

◆賃貸：主要テナント堅調

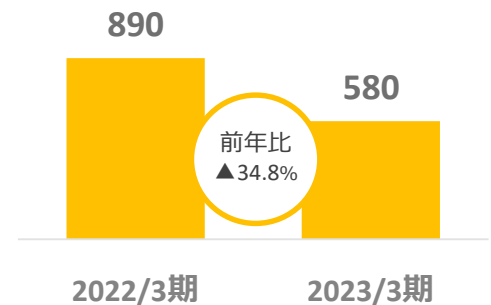
◆空調関連：事業売却により、22年3月期第3四半期から連結対象外

◆書店経営：低調

売上高

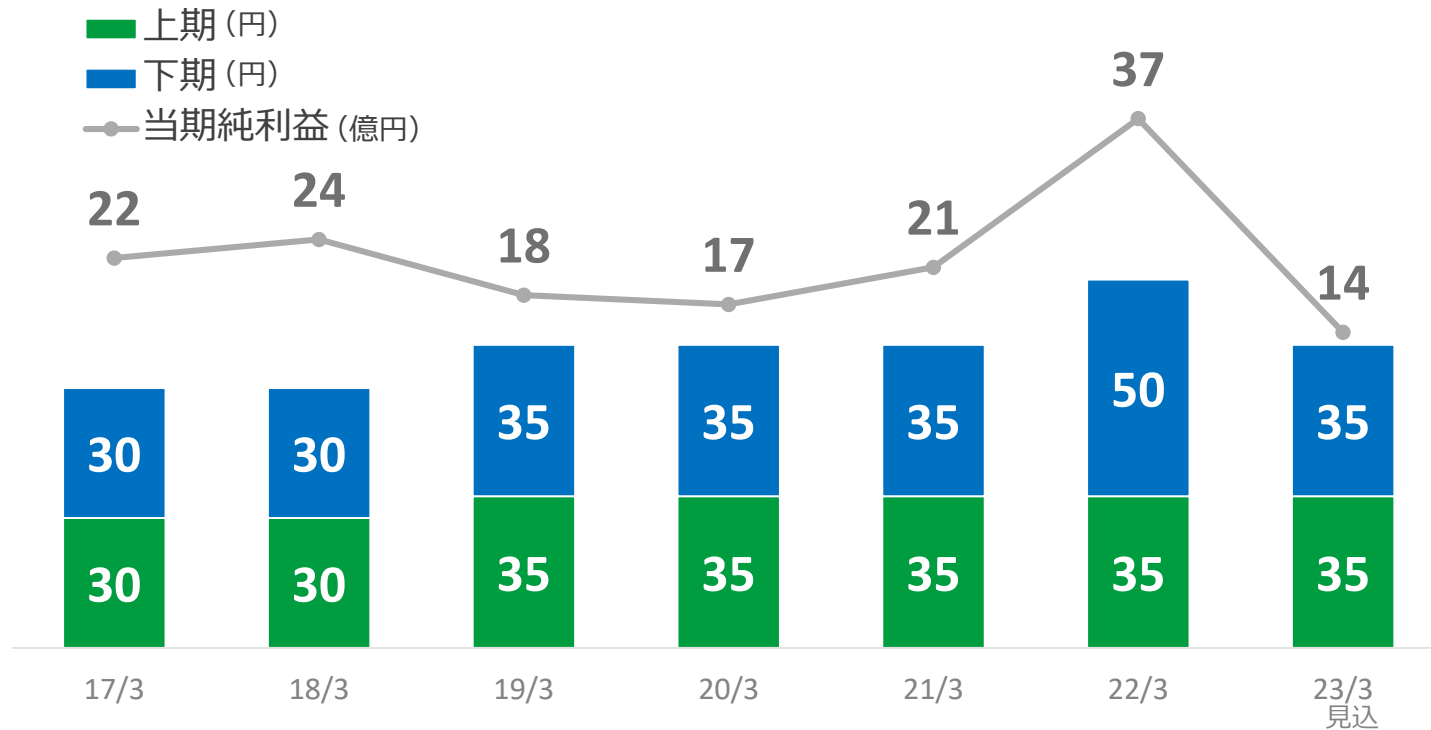


営業利益



株主還元

- ◆安定的かつ継続的な配当を重視
- ◆内部留保の拡充・有効活用によって株主価値を向上

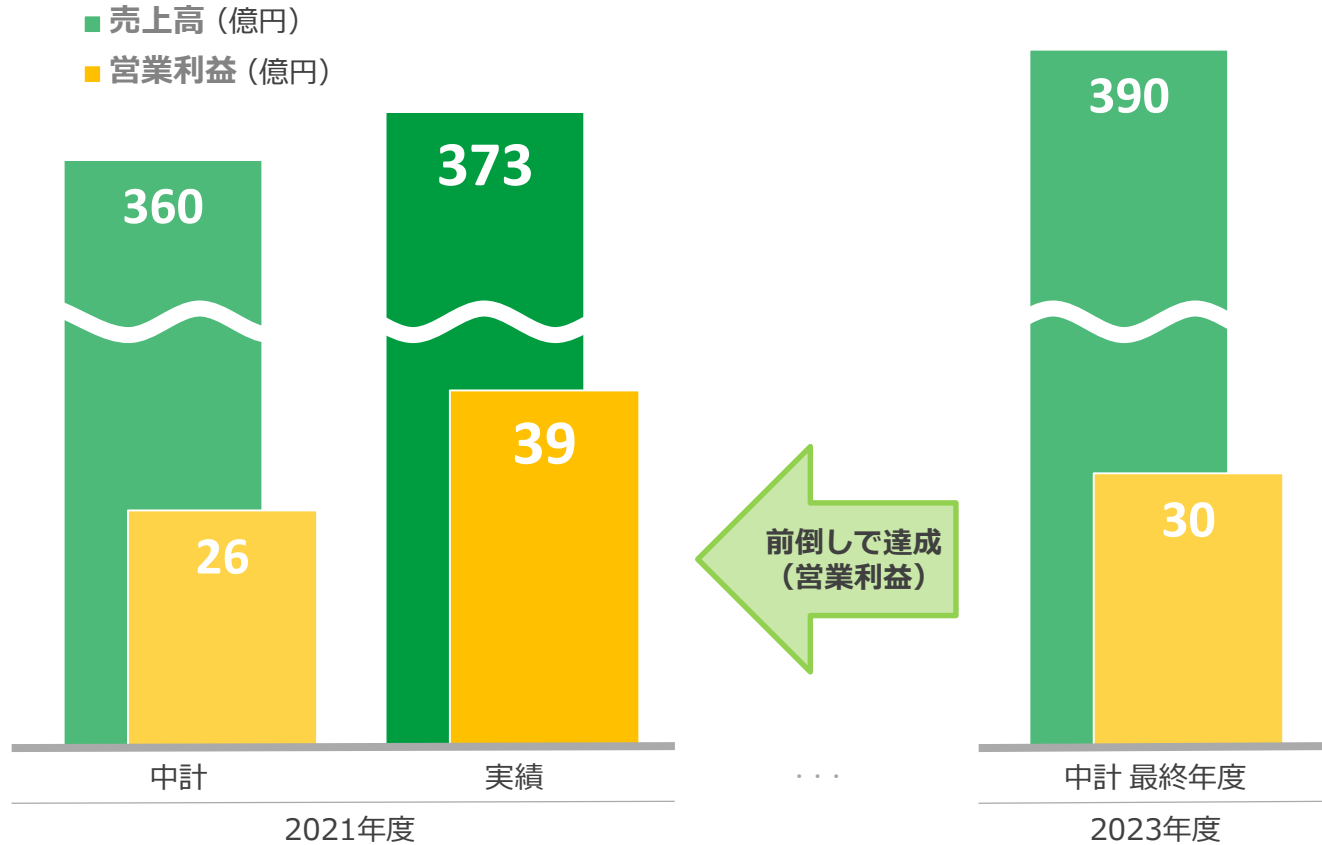


3

中期経営計画

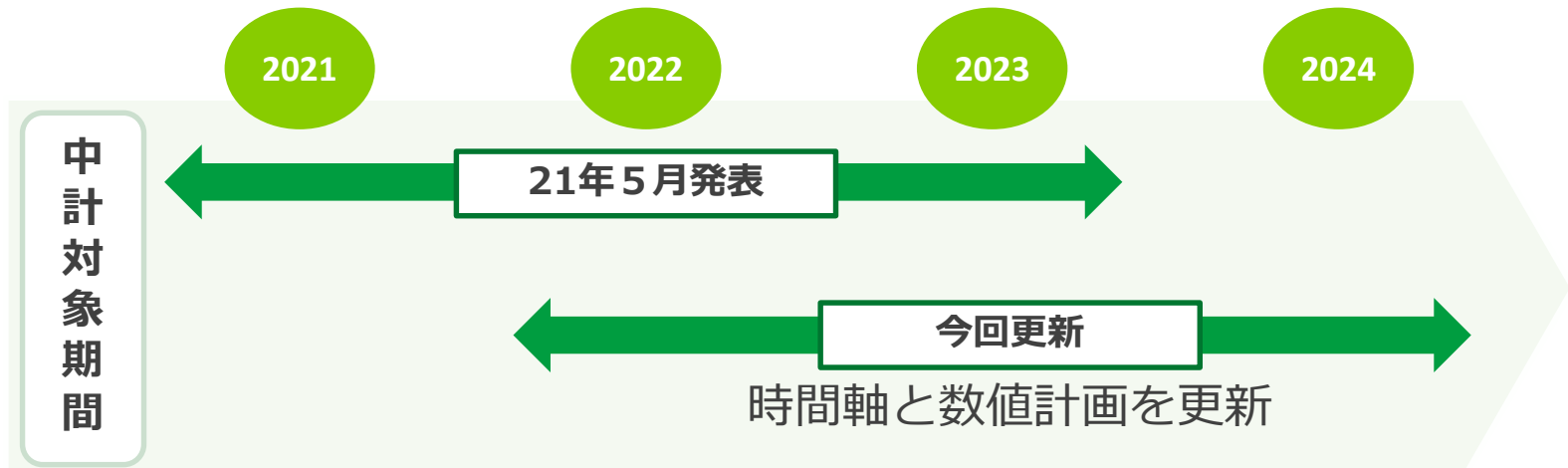
数値目標の達成状況

売上・利益ともに1年目計画を上回る実績
営業利益は最終年度目標を前倒して達成



中期経営計画見直しのポイント

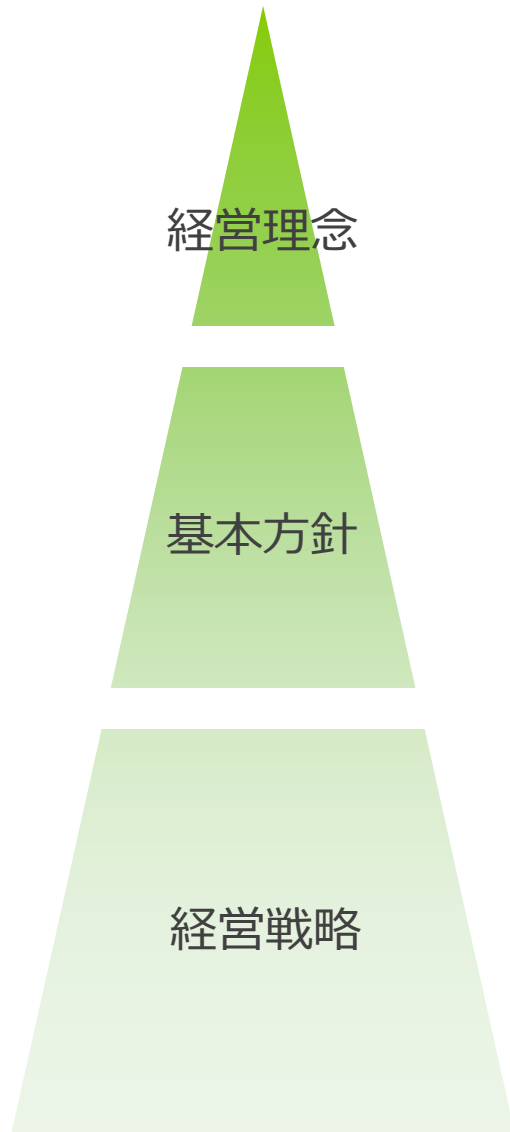
- ① **事業ポートフォリオの変化に応じたアップデート**
子会社売却による事業ポートフォリオの見直し
- ② **外部環境の変化に応じたアップデート**
原材料価格上昇影響の取り込み
最終製品の需要前提と当社業績を修正
- ③ **EBITDA、ROEを重要経営指標に採用**
- ④ **中計対象期間を2022年度～の3年間にアップデート**



新中期経営計画 (2022～2024年度)

「成長戦略の推進と成果の実現」

理念体系



人を大切に、技を大切に

「人」と「技」の両輪で豊かな社会へ

高収益体質企業

如何なる市場環境変化の時代においても、
高収益体質企業を実現させる

価値創造企業

「人と技術」を通して、高品質の製品とサービスを提供し、
価値創造企業へ向けて更なる挑戦を行う

中期経営計画

成長戦略

海外戦略

基盤強化

サステナビリティ経営

中期経営計画の方針・重点施策

前中計

- ✓ 重点分野への集中投資
- ✓ 海外戦略の積極的展開
- ✓ 経営基盤の強化

新中期経営計画

2022~2024

「成長戦略の推進と成果の実現」

企業価値向上の追求

重点施策

① 成長事業の拡大

- ◆ 基盤分野：採算性向上と収益拡大に注力
- ◆ 成長分野：戦略的投資を継続、急拡大する市場に追随
- ◆ 研究開発：市場の変化に順応した、高効率な新製品開発

② グローバル化の推進

- ◆ 差別化製品を基軸とした海外展開の拡大
- ◆ グループ各社の連携強化
- ◆ 成長市場である東南アジアにおける事業機会の獲得

③ 経営基盤の強化

- ◆ 人材の拡充と働き方の多様化
- ◆ 効率的な経営資源の配分
- ◆ 強靱な原料調達体制の確立

経営目標

2024年度目標

売上高
400 億円

営業利益
35 億円

重要経営指標

収益性

EBITDA^{※1}

75億円

株主価値

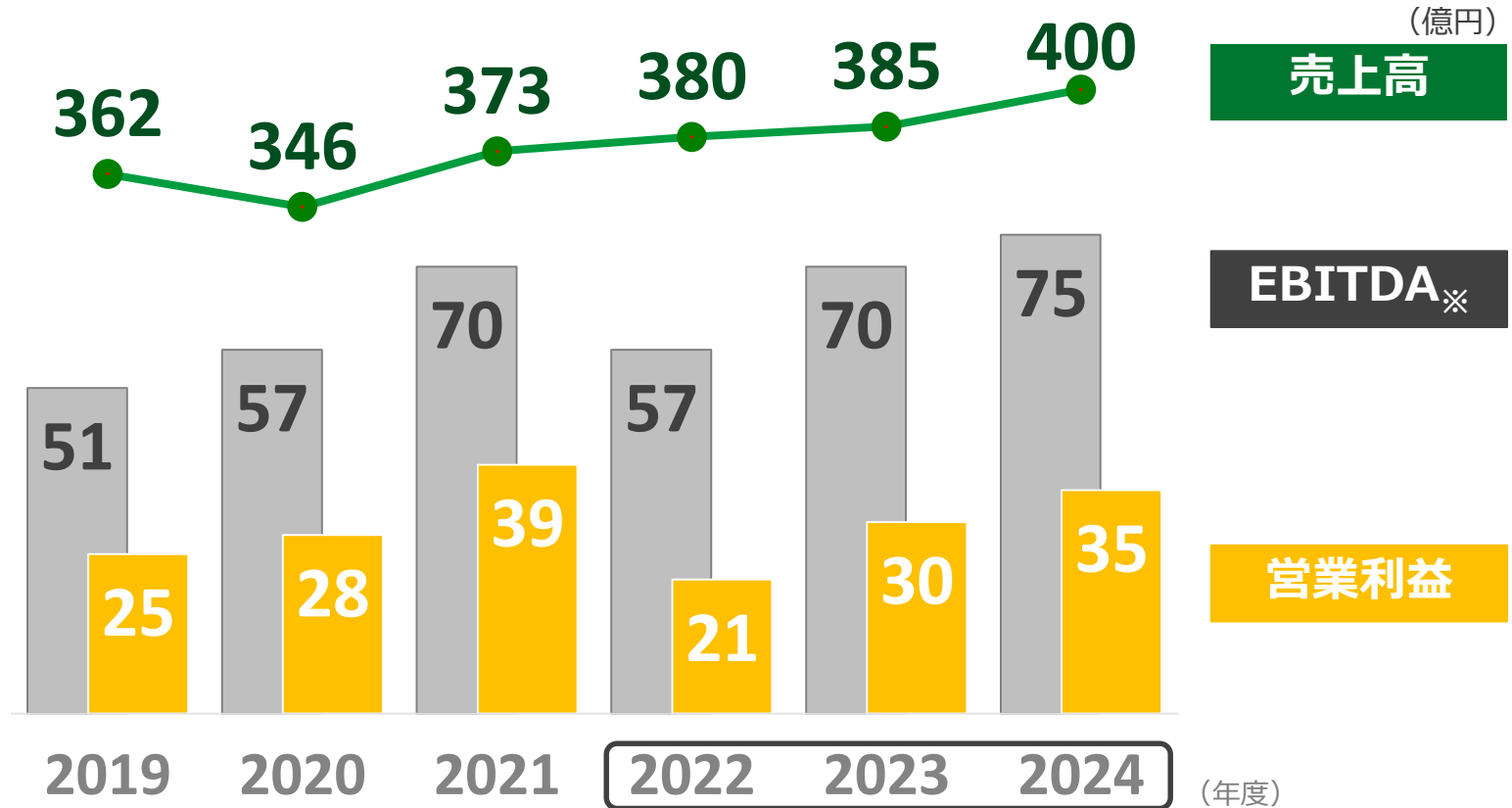
ROE^{※2}

6.0%

※1 EBITDAは簡易版を使用（営業利益＋減価償却費）

※2 ROE = 当期純利益 ÷ 期中平均自己資本

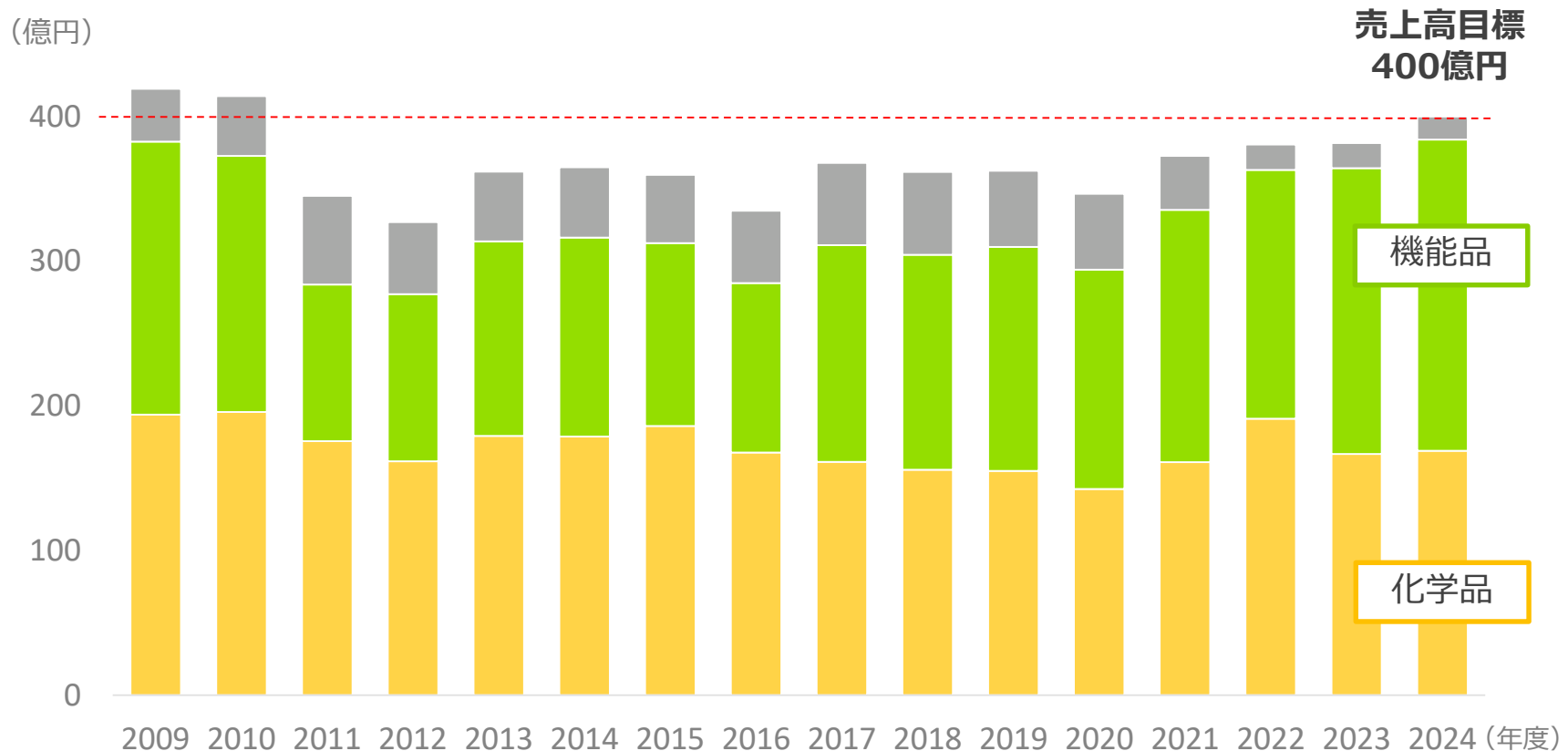
経営目標



※ EBITDAは簡易版を使用 (営業利益+減価償却費) 30

売上計画

2010年度以降、売上高は400億円を下回る水準が続いていたが、当中計期間中も成長戦略や高収益体質強化を積極的に推し進め、**「400億円台への復活」**を目指す。



成長事業の拡大①基盤分野の体質強化

採算性向上・収益拡大に注力

- ・差別化できる製品ラインアップの充実
- ・生産効率化による収益拡大
- ・低収益製品・事業の採算性向上

クロム製品

国内唯一の
クロム化合物メーカー

シリカ製品

日本で初めての生産
(珪酸ソーダ)

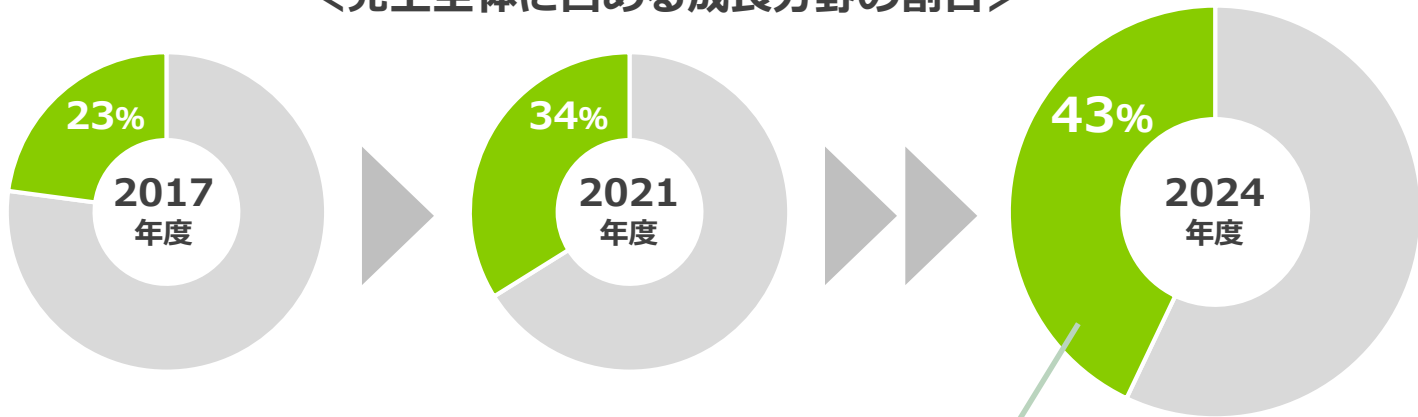
りん製品

国内最大級の
製品ラインアップ

成長事業の拡大②成長分野の拡大

成長分野の売上高割合は25年までに4割超えへ

＜売上全体に占める成長分野の割合＞



「成長分野」製品

- ◆ 電子セラミック材料
- ◆ 液晶/半導体用りん酸
- ◆ 高純度赤燐
- ◆ 高純度ホスフィンガス
- ◆ 量子ドット用りん原料
- ◆ 有機電子材料

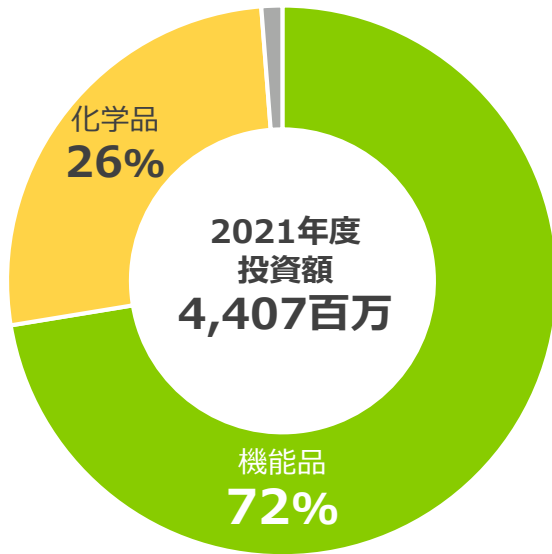


成長事業の拡大③設備投資

成長事業を中心としたポートフォリオへ

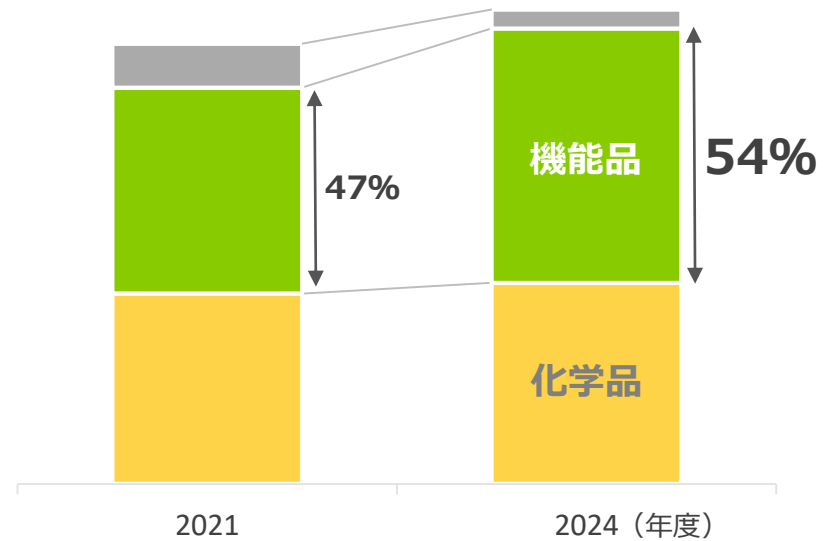
設備投資の内訳

機能品事業に7割を投入



売上高の内訳

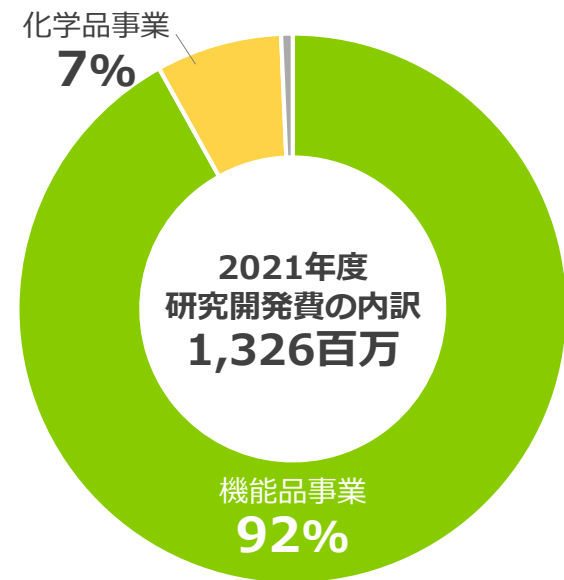
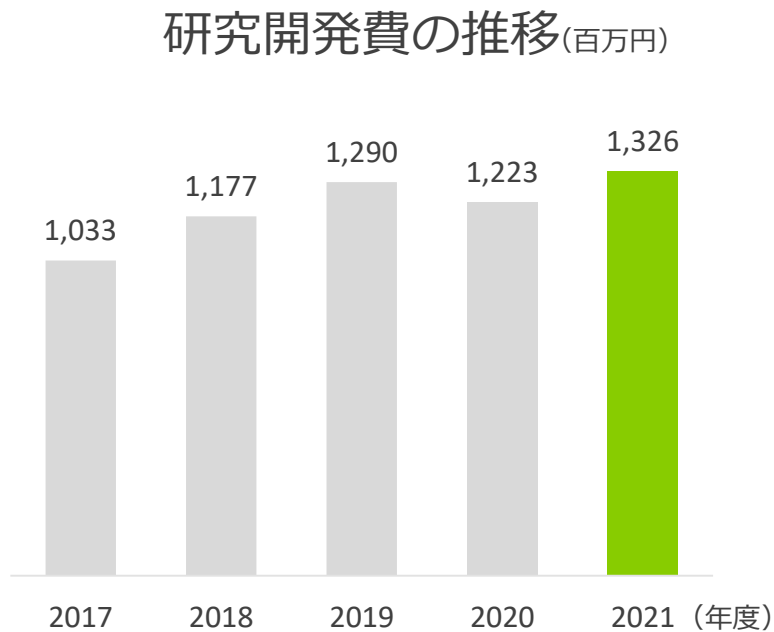
機能品事業の売上高比率は25年までに5割超えへ。



成長事業の拡大④ 研究開発

高効率な研究開発に取り組む

研究開発費の推移(百万円)



グローバル化の推進

世界市場での成長機会を獲得・拡大

東南アジアでの事業機会獲得

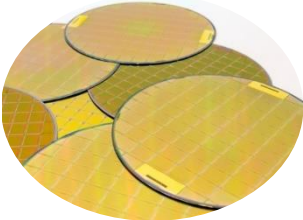
- ・ 成長市場である東南アジアにおける事業機会の獲得
- ・ 海外現地企業とのアライアンスや
当社グループ企業による海外進出の可能性を探求

グループ各社の連携強化

- ・ 国内外グループの連携による価値の最適化・最大化と
新たなビジネスモデルの構築

海外売上高の向上

- ・ 差別化が図れる機能性製品を基軸とした海外展開の拡大
- ・ 成長が見込まれる新興国への拡販



半導体向け



次世代ディスプレイ向け



RFIDタグ向け



経営基盤の強化

経営を支える盤石な基盤に



持続可能かつ強靱な事業体制の構築

- ・ 様々な災害や感染症、カントリーリスクに対しても順応できる原料調達体制の確立
- ・ 効率的な経営資源の配分

人材の拡充と働き方の多様化

- ・ 企業の未来をつくるリーダーの育成
- ・ 採用の多様化を図り、様々な能力を持つ人材の確保
- ・ ポストコロナの状況において企業活動を継続していくための柔軟な業務改革

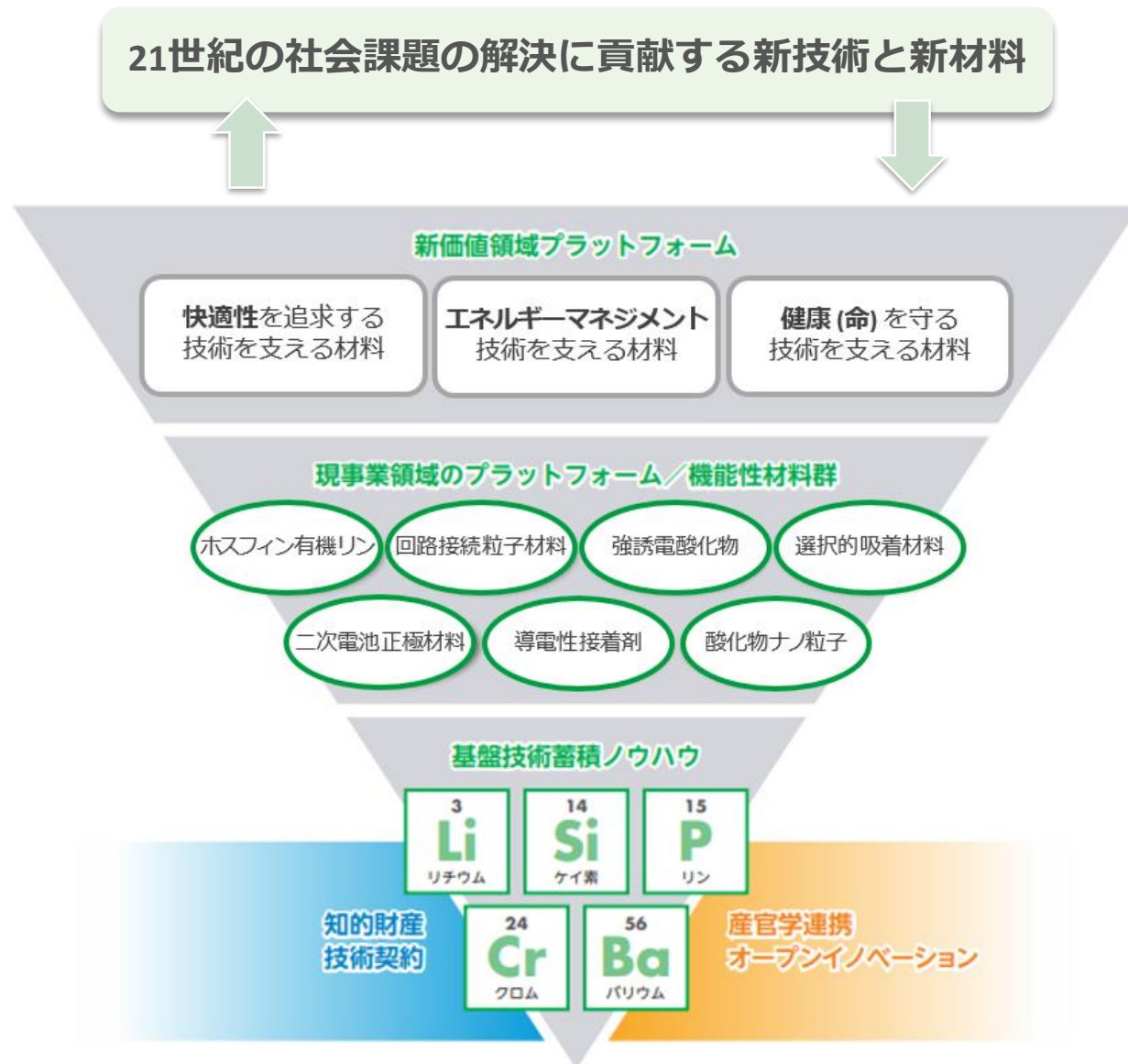
生産技術の深化・伝承

- ・ 固有技術の明確化と製造技術・ノウハウの伝承
- ・ 製造現場の安全確保と安定生産への仕組み作り
- ・ 工場のスマート化推進と製造データ可視化による安定操業の実現

4

研究開発の取り組み

研究開発コンセプト



SMERF[®] (スマーフ) 異方性導電接着剤

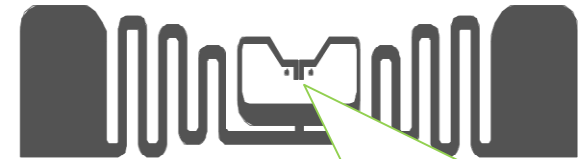
特徴

- ◆ **短時間硬化**
最短 1 秒で硬化→従来比1/10※の時短効果
※当社従来品比
- ◆ **高密着**
硬化時間短縮も、高性能を維持
- ◆ **基材への汎用性**
環境配慮ニーズへ貢献 (PET→紙)

事業戦略

- ◆ **導電粒子からの一貫生産**
最適なソリューションを最短で提供
- ◆ **市場の高品質要求への対応**
短時間硬化・低温硬化の追求
- ◆ **川下製品へ展開**
ブライト[®]の製造ノウハウを活かした川下化

RFIDタグの一般的な仕組み



キュアライト® 光焼成用亜酸化銅ペースト

特徴

- ◆**大気下・低温・短時間焼成**
光焼成で高温処理不要
- ◆**コスト低減効果**
銀ペーストからの置き換え需要に対応
- ◆**基材への汎用性**
環境配慮ニーズへ貢献 (PET→紙)

事業戦略

- ◆**顧客要求に柔軟に対応**
各種印刷法に適した粘度に調整可能
- ◆**低炭素社会への貢献**
製造工程におけるエネルギー削減
- ◆**川下製品へ展開**
亜酸化銅の製造ノウハウを活かした川下化

キュアライト®を用いて
アンテナを光焼成した後の写真



PETフィルム



紙

ターゲット市場

プリントドエレクトロニクス市場に
新たな価値を提供



センサー



車配線



RFID

プリントドエレクトロニクスとは・・・
フィルムなどの基材の上に電子回路や
素子などを形成する印刷技術のこと。



日本化学

本資料に記載されている業績予想や事業計画は、当社が現在入手可能な情報および一定の前提条件に基づいて作成したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な要因により、実際の業績等は異なる可能性があります。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願い致します。